

	<h1>進取の気概</h1> <p>(校長室だより)</p>	<p>有田市立箕島中学校</p> <p>自主 友愛 剛健</p>	R4・9・29
			No.35

文化庁主催の「文化芸術による子どもの育成事業」の巡回公演が11月14日に行われます。今年に関西演芸協会のみなさんに落語や漫才、諸芸を披露していただきます。先週の水曜日には、みなさんのためにシンデレラエキスプレスさんと桂小梅さんが一足早く来てくださり、ワークショップによる実演と解説を行ってくれました。そして、各学年を代表したみなさんが寄席に関係したさまざまな体験をさせていただきました。

- お茶子さんの働き（座布団の置き方などの体験）
- 寄席囃子（一番太鼓の体験）
- 言葉遊び（アイウエオ作文の体験）
- 漫才（プレ実演の体験）



舞台に出たみなさんもそれを見ているみなさんも笑いのあふれる楽しいワークショップになりました。今回のワークショップを見ていて、一番感じたことは、みなさんの雰囲気がとても良いということです。舞台に出てくれたみなさんも積極的にがんばってくれました。また、観客席で説明を聞いたりするみなさんの態度も素晴らしかったです。出演する人と見る人とが一体となって楽しみながら創り上げている。だから、良い雰囲気になるのだろうと思いました。そして、それができている箕島中学校のみなさんは、本当に良い集団だなと思いました。昨年みなさんに言ったことですが、経験したことがないことでもみんなで楽しむことができるって、箕島中学校のみなさんの素晴らしいところです。本公演が待ち遠しいですね。



8月25日～9月22日の約1ヶ月の間、本校卒業生の尾藤惇一先生が教育実習を行いました。初めての学校現場で慣れないことも多かったと思いますが、大変真面目に熱心に実習に取り組む姿勢に感心しました。2年3組の学級と2年生の理科の担当でしたので、残念ながら先生と話す機会がなかった人もいますかと思いますが、しかし、授業やクラブ活動、その他さまざまな場面でいろいろなことを尾藤先生から学んだ人も多かったのではないのでしょうか。尾藤先生からみなさんに「やさしく受け入れてくれて、たくさん話しかけてくれて、ありがとうございます。中学校生活が充実したものになるように、これからもがんばってください。」とメッセージをいただいていますので紹介しておきます。ちなみに将来は教員を志望しているということです。ぜひともその希望が叶うことを願っています。

